

9月21日(水)～30日(金) 秋の全国交通安全運動

「ゆずろうよ みんなもいつかは 高齢者」「スピードを おとして見える 街 笑顔」をスローガンに、秋の全国交通安全運動が、9月21日(水)から30日(金)までの10日間、全国一斉に行われます。

【運動の重点目標】

高齢者の交通事故防止

ドライバーの皆さん！思いやりとゆずり合いの心を持って運転しましょう。

高齢者の皆さん！自分の身体能力を正しく理解して、能力に応じた適正な運転や歩行を心掛けましょう。

悪質・危険な運転の防止

スピードの出し過ぎや飲酒運転、信号無視などの危険な運転は絶対にやめましょう。

夕暮れ時の歩行中と自転車乗車中の交通事故防止

明るい色の服装や反射材を身につけましょう。
また、自転車を利用するときは、早めにライトを点灯しましょう。

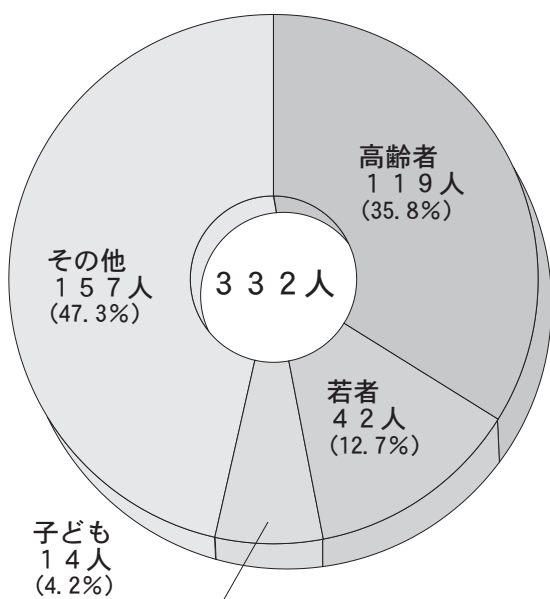
シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

「面倒だから」「すぐ近くだから」という安易な気持ちではなく、シートベルトとチャイルドシートの必要性と着用効果を認識し、必ず着用しましょう。



平成16年中の高齢者死亡事故の特徴

平成16年中の年齢別交通事故死者数



平成16年中に県内で交通事故により332人が亡くなっていますが、そのうちの119人は高齢者となっています。

- ◆前年と比べて、死者数は減少していますが、事故死者に占める割合は横ばいとなっています。
- ◆時間帯別では、午後2時から午後8時までに50人と最も多くの方が亡くなっており、特に薄暮時間帯に多く発生しています。
- ◆歩行中に事故に遭って亡くなったのは62人で、前年と同様に最も多くなっています。
- ◆歩行中に続いて多いのは、自転車乗車中の事故で26人が亡くなっています。
- ◆四輪乗車中に16の方が亡くなっていますが、13人がシートベルトを締めていませんでした。

〈問い合わせ先〉

総務課交通班 (☎62-5835)